

投資者の皆様へ

2020年3月12日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

弊社ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。直近で海外株式市場及び国内株式市場が大きく下落した影響から、3月12日における弊社の下記ファンドの基準価額が大きく下落いたしました。その要因等についてご報告申し上げます。

1.基準価額及び騰落率(3月12日)

ファンド名称	基準価額	前営業日比	騰落率
SBI日本・アジアフィンテック株式ファンド	10,724 円	▲569 円	▲5.0%
EXE-i 先進国株式ファンド	15,004 円	▲825 円	▲5.2%
EXE-i グローバル中小型株式ファンド	12,789 円	▲862 円	▲6.3%
EXE-i グローバルREITファンド	12,441 円	▲735 円	▲5.6%
SBI・全世界株式インデックス・ファンド(愛称:雪だるま(全世界株式))	8,885 円	▲486 円	▲5.2%
SBI・先進国株式インデックス・ファンド(愛称:雪だるま(先進国株式))	8,600 円	▲476 円	▲5.2%
SBI・バンガード・S&P500インデックス・ファンド(愛称:SBI・バンガード・S&P500)	8,977 円	▲488 円	▲5.2%
SBI米国中小型割安株ファンド(愛称:USリバイブ)	6,887 円	▲408 円	▲5.6%
SBI米国小型成長株ファンド(愛称:グレート・スモール)	8,034 円	▲554 円	▲6.5%

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

2. 基準価額の主な下落要因及び今後の見通し

本レポートに記載のファンドに関する下落要因及び今後の見通しは以下の通りです。

11日の米国株式市場において、主要株価指数となるダウ工業株30種平均が前営業日比▲1,464ドル94セント(▲5.86%)安の23,553ドル22セントと、9日の2,013ドル76セント安に次ぐ過去2番目の下げ幅を記録しました。新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大したことにより、投資家の不安が収まらず、リスク回避の動きが強まりました。

また、12日の国内株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大をめぐり、世界保健機関(WHO)が「パンデミック(世界的な大流行)とみなせる」と表明したことから、投資家心理が低下し、売り先行の相場展開となりました。

トランプ米大統領が欧州から米国への渡航制限を発表したことから、世界景気の悪化懸念により一段安となり、日経平均株価は今年4回目となる前日比▲1,000円超の下落を記録し、円相場は1ドル=103円台前半まで円高が進行しました。

結局、日経平均株価は、前営業日比▲856円43銭(同▲4.41%)安の18,559円63銭で取引終了しました。

このような国内外の株式市場の下落に伴い、弊社が運用するファンドの組入銘柄の株価も影響を受けたことから、各ファンドの基準価額も大幅に下落しました。

新型コロナウイルスは発生地とされる中国では沈静化しつつあるものの、欧米各国では感染拡大が続いており、引き続き世界経済への影響が見通しにくい状況にあります。そのため、当面は株価の調整局面が続く展開が予想されます。

しかし、新型コロナウイルスによる経済、企業業績に対する影響が一巡すれば、株式市場も落ち着きを取り戻し、企業の本源的な長期的成長を見直す動きが戻ると予想しています。

このような環境下、当社では、引き続き適時適切な運用を行うべく尽力していく所存ですので、今後ともよろしくご依頼申し上げます。

以上

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.5%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬 上限 2.2%(税抜 2.0%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。また、上記上限を超える場合があります。

●その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。